

## ISK加盟クラブ紹介 2020

### スノーボールの近況報告

先ず、悲しい報告をしなければなりません。長年に渡り ISK の発展に貢献され、スノーボールスキークラブの会長を務められた細川さんが 1 月 28 日、94 歳で亡くなりました。80 台まで現役でスキーをされ、いつも優しく穏やかに皆さんと接して頂きました。心より感謝してご冥福をお祈り致します。

さて、2018-19 年シーズンもクラブ行事は、例年通り 2 回開催しました。1 月 12 日~14 日は、初めての白馬さのさかスキー場になんと 24 名大集合。最高の宿と近隣の大きなスキー場の様な混雑をよそに、がらがらのゲレンデで快適合宿でした。3 月 29 日~31 日は恒例の志賀高原に 13 人の参加。いつも通り蓮池から奥志賀高原までリフト乗り継ぎの往復ツアー。春というのに低温でいい雪と最終日の渋峠ツアーでは新雪パウダーにも恵まれました。それにしても志賀高原はリフトが廃線になっていたり、他の大きなスキー場に比べるとインバウンド外国人客はほとんど見当たらず、空いていていいと言えはいいのですがオリンピック会場となった場所としてはさみしい限りです。



2019 年 3 月 30 日志賀高原高天原

クラブメンバーは、高齢化が進み引退される方がいらっしゃる一方、お二人はスノーボールを代表して ISK 教育部の重要な役割を担って活躍して頂いており、又、技術研鑽の志高いスキーヤーが新しくお仲間に入って頂いています。細川前会長の後を石丸新会長が引き受けて下さり、歴史ある我がクラブは着実に未来に向かっていくと感じます。そして 2 回の行事以外にも、それぞれ、技術の目標や楽しみ方の志向に合わせて、皆さん活発に活動されている様です。

温暖化が叫ばれて久しくなりますが深刻な雪不足はもう何年もないと記憶します。来シーズンもタイミングよく適度に山に雪が降ってくれることを願って、体力と道具の準備を万全にしたいものです。